

資料 1

平成 25 年 3 月 18 日

ご意見を伺う会の開催趣旨

科学委員会委員長 入村 達郎

- 我が国は、急速に高齢社会に向かっており、医療の分野では、明らかに課題先進国です。一方、基礎医学や、医療技術、とりわけ医薬品や医療機器の開発においては、世界に先駆けている分野も数多いことは皆様よくご存知と思います。しかしながら従来、画期的な医薬品や医療機器が海外発である例、日本発であっても臨床開発が外国において行われる例も見られました。今後、前例のない画期的な医薬品や医療機器の実用化を進めるためには、最先端の科学に基盤を持つ判断が必須となると思われます。
- 科学委員会は、近未来に医薬品・医療機器の研究開発・承認申請に応用され则认为られる先端科学技術応用製品の審査・相談等に係る課題を委員会自らあるいは医薬品医療機器総合機構との協議に基づいて抽出し、それらの先端科学技術応用製品に対する対応方針に関する提言や、審査等業務の科学的な面における向上方策に関する提言等を医薬品医療機器総合機構に対して行うことを目的として設置されました。
- これまで 1 年近く議論を重ね、現在、具体的な議題や議論の方向が纏まりつつあります。
これまでの議論は主として医療にかかわる科学者を中心とする委員会の内部で行われて参りましたが、この機会にこれらの議題及び今後の議論の方向などについての関係の方々のご意見やご要望等について意見交換を行うことにより、今後の活動の参考としたいと考え、資料 2 に示す方々から、ご意見を伺うこととさせていただきました。